

マークをクリックするとそのページを見ることができます



発生動向総覧
P.2-3

< 51週 > 咽頭結膜熱 - 定点当たり報告数は、過去5年間の同時期に比べやや多くなっている / その他最新動向



注目すべき感染症
P.4

< インフルエンザ > 定点当たり報告数は増加しており、全国の多くの地域でインフルエンザの流行に突入したものと考えられる



病原体情報
P.5

患者から分離・検出された病原体報告 - インフルエンザウイルス / 感染性胃腸炎



速報
P.6

遺伝子型H1による成人麻疹の多発 - 愛媛県



海外感染症情報
P.7

< 今週は該当情報はありません >



感染症の話
P.8-10

性器ヘルペスウイルス感染症
単純ヘルペスウイルスの感染によって性器やその周辺に水疱や潰瘍等の病変が形成される疾患である



読者のコーナー
P.11



グラフ総覧(51週)
P.12-18



51週のデータ
P.19-27



発生動向総覧

第51週コメント 12月26日集計分

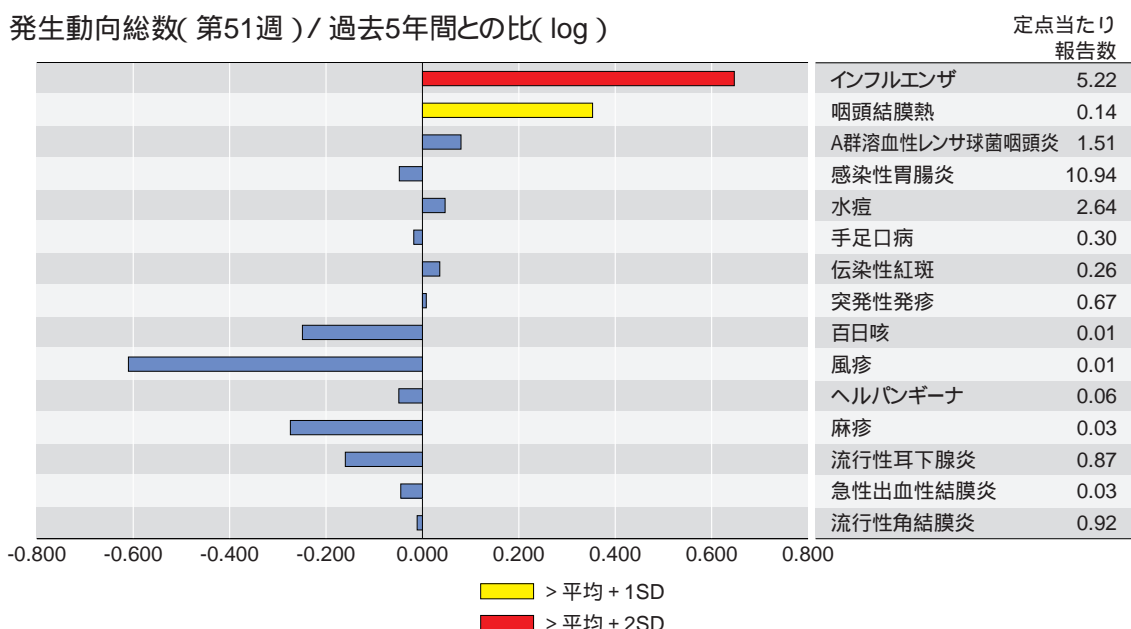
全数報告の感染症

- 1類感染症: 報告なし
- 2類感染症: 細菌性赤痢7例(推定感染地: 国内2例、インド、インド/タイ、タイ、モロッコ各1例、不明1例)
パラチフス1例(推定感染地: ネパール)
- 3類感染症: 腸管出血性大腸菌感染症16例(うち有症者10例)
- 4類感染症: アメーバ赤痢4例(推定感染地: 国内3例、インドネシア1例)、クリプトスポリジウム症1例
劇症型溶血性レンサ球菌感染症1例(59歳)、ジアルジア症2例(推定感染地: 国内1例、不明1例)、ツツガムシ病9例、破傷風2例(89歳、37歳)
急性ウイルス性肝炎6例 B型4例(感染経路: 性的接触1例、不明3例)
 C型1例
 不明1例
クロイツフェルト・ヤコブ病3例(すべて孤発性)
後天性免疫不全症候群13例(無症候9例、AIDS 3例、その他1例)
 感染経路: 性的接触11例、異性間3例、同性間7例、異性/同性間1例、不明2例
梅毒6例(早期顕症3例、無症候性3例)

定点把握の対象となる4類感染症(週報対象のもの)

インフルエンザは定点当たり報告数が5.22と増加し、過去5年間の同時期に比べかなり多くなった。都道府県別では、福岡県(29.3)、佐賀県(16.6)、大分県(15.0)、広島県(13.3)、長崎県(11.3)などの西日本の都道府県で定点当たり報告数が二桁となった。岩手県(0.2)と青森県(0.2)からの報告は依然として少ない。咽頭結膜熱の定点当たり報告数は過去5年間の同時期に比べやや多く、都道府県別では秋田県(2.6)からが多い。他の疾患の定点当たり報告数は、過去5年間の同時期と比べて多くなってはいないが、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は依然として多く、福井県(3.6)を始め、15都道府県から2.0以上の報告があった。感染性胃腸炎の定点当たり報告数(10.9)は今週も減少したが、三重県(27.1)を始め半数を超える都道府県で引き続き10を超えている。水痘の定点当たり報告数は引き続き多く、都道府県別では、福井県(第50週が7.1、第51週が4.1)からの報告数は減ったが、佐賀県(5.5)、宮崎県(4.9)、大分県(4.8)等の報告数が増加した。伝染性紅斑の総報告数には特に変化はないが、北海道に全体の約四分の一が集中している。麻疹(成人麻疹を除く)の定点当たり報告数は0.03であるが、福島県(0.5)、宮崎県(0.3)、青森県(0.2)の3県からの報告が4割を占めた。流行性耳下腺炎と流行性角結膜炎の定点当たり報告数は全国的には減少しているが、前者は岩手県(3.8)、秋田県(3.3)をはじめとした東北地方(2.29)と鳥取県(2.2)で、後者は宮崎県(4.8)と高知県(3.0)で多い。マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数(0.23)は減少したが、青森県(2.5)と秋田県(1.3)から非常に多く、東北地方(0.71)の報告数は全国レベルの3倍となった。

発生動向総数(第51週) / 過去5年間との比(log)

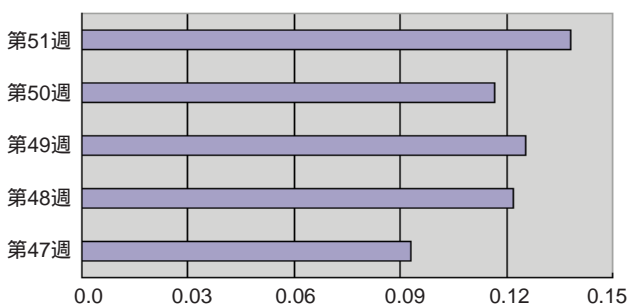


当該週と過去5年間の平均(過去5年間の前週、当該週、後週の合計15週の平均)の比を対数にてグラフ上に表現した。1標準偏差を超えた場合黄で、2標準偏差を超えた場合赤で色分けしている。

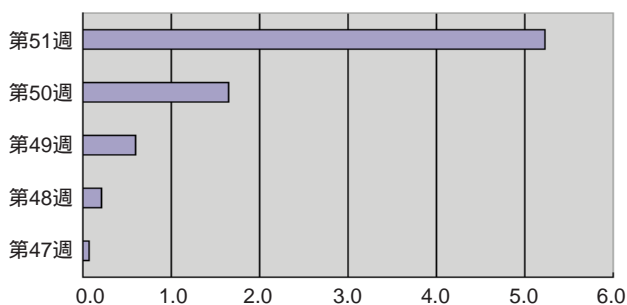
最近の注目疾患－5週間の動き

咽頭結膜熱、インフルエンザ、伝染性紅斑の定点当たり報告数は前週に比べて増加した。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、水痘の定点当たり報告数は、前週に比べてわずかに増加した。感染性胃腸炎の定点当たり報告数は前週に比べてほとんど不変である。

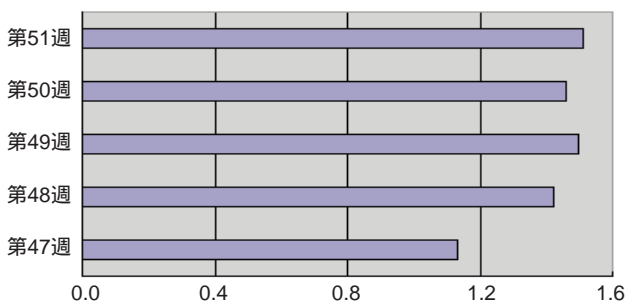
咽頭結膜熱



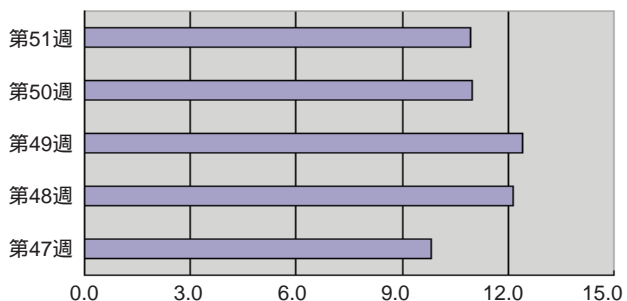
インフルエンザ



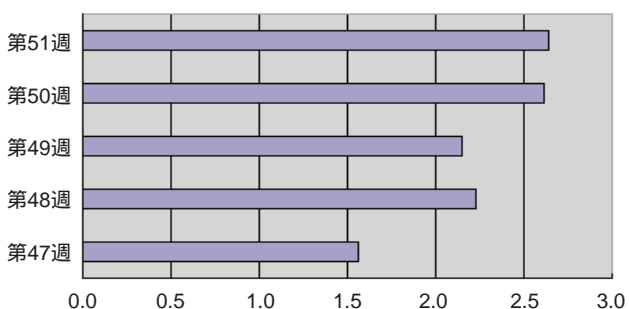
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



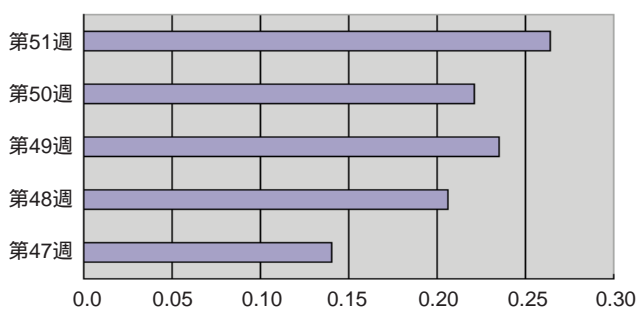
感染性胃腸炎



水痘



伝染性紅斑



(注) グラフの横軸は各疾患の定点当たり報告数(報告総数/定点総数)を表す。疾患によって目盛りのスケールが違うことに注意。



注目すべき感染症

インフルエンザ

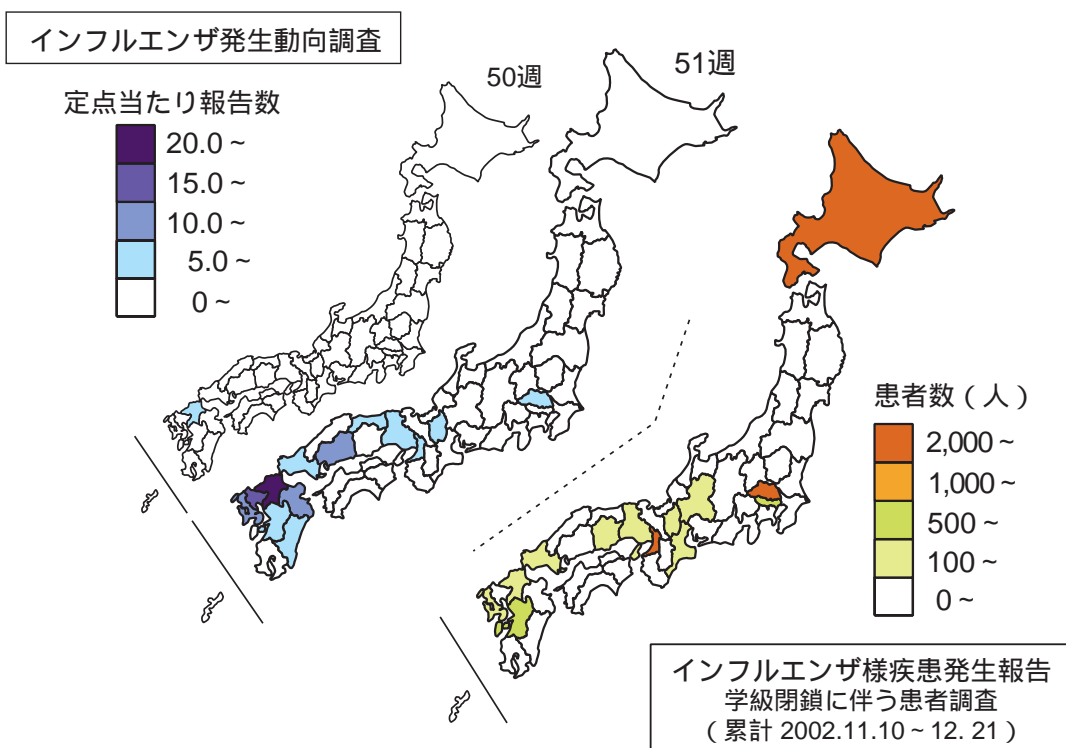
インフルエンザの定点当たり報告数は0.60(第49週)、1.65(第50週)、5.22(第51週)と増加している。51週では、岩手県、青森県、宮城県、茨城県、愛媛県、和歌山県の6県を除いた都道府県すべてにおいて、定点当たり報告数は1.0を超えており、全国の多くの地域でインフルエンザの流行に突入したものと考えられる。1995/96年、1996/97シーズンの流行の始まりよりは遅いものの、ここ数年との比較では、流行は例年より早く始まっている。

第51週では図に示すとおり九州地区などからの報告が多く、福岡県、佐賀県、大分県、広島県、長崎県などで定点当たり報告数は10.0を超えた。特に福岡県では、定点当たり報告数が29.25と非常に多かった。

病原体ではA香港型(H3N2)が分離されたウイルスの大半を占めているが、B型も分離報告がある。Aソ連型(H1N1)については、今シーズンの分離報告はまだない。

インフルエンザの総合的な情報は以下のURLに記載されているので、参照されたい。

<http://idsc.nih.go.jp/others/topics/newpage2.html>





病原体情報

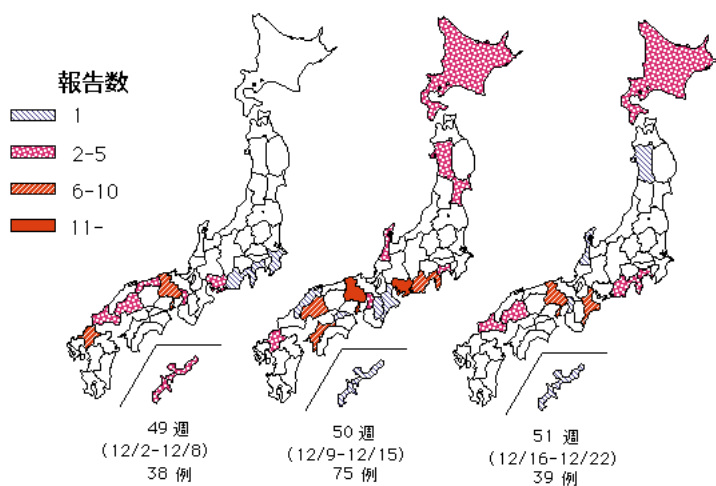
*グラフはIASRホームページ(<http://idsc.nih.go.jp/iasr/index-j.html>)からの引用です。
(2002年12月27日現在報告分)

インフルエンザウイルス 2002/2003シーズン

AH3型ウイルスは第49週に沖縄県、第50週に札幌市から新たに分離が報告され、各地からの報告が相次いでいる。これまでに32地研から190件(PCRのみの検出1件を含む)報告されている。このうちN型別された11件(川崎市6、広島県3、石川県2)はN2であった。B型ウイルスは新たに岡山県(第49週2件)、神戸市(第51週1件)、沖縄県(第51週1件)で分離され、これまでに9地研から12件報告されている。AH1型ウイルスの報告はまだない。

都道府県別インフルエンザウイルスA (H 3) 分離・検出報告状況、2002/2003シーズン

(病原微生物検出情報 : 2002年12月27日現在報告数)



各都道府県市の地方衛生研究所からの分離報告を図に示した。

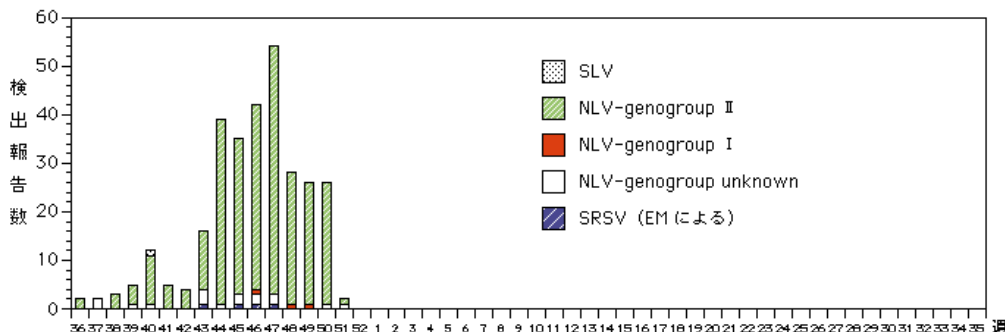
IASR

Infectious Agents Surveillance Report

冬季の感染性胃腸炎関連ウイルス 2002/2003シーズン

小型球形ウイルス(SRSV)の検出報告は計301件で、このうちノーウォーク様ウイルス(NLV)genogroup II が277件(愛媛県84、高知県18、東京都17、島根県17など)と大部分を占め、NLV genogroup I が3件(愛媛県)、NLV genogroup不明が16件(福井県11、仙台市4、東京都1)、サッポロ様ウイルス(SLV)が1件(大阪市)、電顕による検出が4件(栃木県)報告されている。ロタウイルスは、A群が22件(島根県5、東京都3、大阪市3など)、C群が2件(岩手県)、群不明が4件(愛媛県)報告されている。

検出されたSRSVの内訳、2002/03シーズン (病原微生物検出情報 : 2002年12月27日現在報告数)



各都道府県市の地方衛生研究所からの検出報告を図に示した。

IASR

Infectious Agents Surveillance Report



遺伝子型H1による成人麻疹の多発 - 愛媛県

2002年11月中旬に新居浜市内の小児科医から新居浜市を通じ、成人麻疹が急増しているとの情報提供があった。県東部地域3保健所の調査により、10月7日～11月21日までに、新居浜市およびその周辺地域で47名(うち成人麻疹31名)の患者が確認され、地域的流行の兆しが見られた。この状況を鑑み、県では11月21日に麻疹対策連絡会議を開催し、疫学的調査方法や予防接種の勧奨などの対策を協議した。3保健所管内の全医療機関を対象にした調査で、12月11日までに97名の患者が報告され、そのうち18歳以上の成人麻疹が59名含まれていた。年齢別では20代が40名(41%)と最も多く、ワクチン接種の既往が明らかであった者は15名(15%)であった。

今回の地域流行では成人麻疹の占める割合が高いため、積極的にウイルス学的検索を行った。B95a細胞を用いたウイルス分離と、RT-PCRによる麻疹N遺伝子の検出を行い、これまでに5例(血液5件、咽頭ぬぐい液3件)から麻疹ウイルスが分離された。分離陰性例のうち1例はRT-PCR陽性であった。

また、セロディア - 麻疹(PA法)および麻疹IgM(II)-EIA「生研」を使用し、麻疹PA抗体価およびIgM抗体価を測定した。その結果、ウイルス分離陽性の1例を除きすべてIgM抗体陽性で、被検者すべての麻疹罹患が確認された。ウイルス分離陰性の3例は、急性期のPA抗体価が非常に高い傾向がみられた。

今年分離株4株と2001年分離株4株、計8株からRT-PCRでN遺伝子3'末端領域を増幅し、群馬県衛生環境研究所でダイレクトシーケンスを実施した。得られた8株の塩基配列456bpを、日本DNAデータバンク等から入手した各遺伝子型の塩基配列とともに、NJ法によって系統樹解析した。今年分離株は4株すべて、遺伝子型H1型の代表株MVi/Hunan.CHN/93/7と同一のクラスターに属したことから、H1型であることが明らかとなった。また、4株の塩基配列の相同性は100%一致していた。一方、2001年分離株はすべてD5型で、国内で流行している株であった。

H1型麻疹ウイルスは、2001年に東京都と川崎市で(IASR Vol.22, No.11参照)、2002年に大阪市で(IASR Vol.23, No.11参照)散発麻疹から分離されており、また2002年3月には北茨城市の中学校における集団発生も報告されている。今回の愛媛県における成人麻疹からのH1型の分離は、国内で初めての事例である。

愛媛県では、今後の患者発生動向を監視するため、県下全域で成人麻疹患者の全数把握調査を継続中である。

最後に、患者数の把握と検体採取にご協力いただきました関係医療機関の先生方に深謝いたします。

愛媛県立衛生環境研究所

吉田紀美 竹内潤子 近藤玲子 烏谷竜哉 大瀬戸光明 高見俊才 山下育孝
奥山正明 浅井忠男 井上博雄

群馬県衛生環境研究所

木村博一 森田幸雄 齋藤美香 長井 章

新居浜保健所

西原正一郎

西条中央保健所

佐伯紀之

伊予三島保健所

安岡賢治

(IASR2003年1月号掲載予定記事より抜粋、詳細は同号参照)



海外感染症情報

今週はお休みさせていただきます。
海外感染症情報については、
FORTHホームページ(<http://www.forth.go.jp/>)でご覧いただけます。



感染症の話

性器ヘルペスウイルス感染症

性器ヘルペスウイルス感染症(genital herpes simplex virus infection、以下性器ヘルペス)は、単純ヘルペスウイルス(HSV)の感染によって性器やその周辺に水疱や潰瘍等の病変が形成される疾患である。感染症法下では4類感染症定点把握疾患に分類されている。感染はHSVに感染している相手との性交によって起こり、相手の性器に明らかな病変がある場合のみならず、無症状でも性器の粘膜や分泌液中にウイルスが存在する場合には感染する。また相手の唾液中にHSVが排出されている場合には、口唇性交によっても感染する。抗ヘルペスウイルス剤を服用すれば病変はいったんは治癒するが、HSVは一度感染すると神経節に潜伏し、時に再活性化し、患者はその後長年にわたって再発を経験する。

疫学

HSVは古くからヒトに蔓延しているウイルスで、感染様式は大きく2分される¹⁾。1) 幼少期に周囲のHSV感染者から唾液等を通じて感染し、口内や口唇その他上半身に水疱・潰瘍を生じる。2) 一方、思春期以降、性行為によって性器に感染し、病変を形成する。1) の様式で感染する者は多く、生活環境によっても異なるが、集団の感染率は通常、成人に達するまでに50 ~ 80%に達する。2) の場合の性感染症(STD; sexually transmitted disease)としての病態が性器ヘルペスである。HSVには2種類の型があり、口、手指等の上半身に感染するのは主に1型(HSV-1)、性器等の下半身に感染するのは主に2型(HSV-2)であるが、この棲み分けは厳密なものではなく、性器ヘルペスの病変からも、口唇性交等によって感染したHSV-1が多数分離される。

無症候性感染者の多い性器ヘルペスの侵淫度を調べる手段としては、HSVに対する抗体を検出する血清疫学が有用であるが、HSV-1抗体は幼少時の感染によるものと区別できないため、性器ヘルペスの指標には用いられない。HSV-2固有の蛋白(gG-2)を抗原とした型特異抗体測定法を用いて抗HSV-2抗体が検出された場合のみ、性器ヘルペス(2型)と推定できる。わが国の様々な集団について抗HSV-2抗体の保有率を調べると、その程度は明らかに性行動の活発さに比例しており、一般妊婦等では10%前後であるが、コマーシャルセックスワーカーにおいては80%にも達している²⁾。米国では、1990年代前半の調査で³⁾、12歳以上の国民の21.9%が抗HSV-2抗体を保有しており、70年代の調査に比べると30%も増え、特に12 ~ 19歳の若年齢層では5倍に急増している。

性器ヘルペスの問題は、1) 繰り返し再発する、すなわち根治が困難であるため、患者にとって精神的苦痛が大きい、2) 感染しても発症せず、無症状でウイルスを排出している場合が多く(70 ~ 80%)、本人も疾患に気づかないまま次の相手に移してしまう、すなわち予防が困難である、の2点に集約される。また、妊婦が性器ヘルペスに罹患し、出産時にウイルスを排出していた場合には、新生児がHSVに感染し、重篤な新生児ヘルペスを発症する危険性が高い⁴⁾。さらに、性器に潰瘍性病変を有すると、エイズの原因となるヒト免疫不全ウイルスを移したり、移されたりする可能性が高まることが知られており、エイズのコントロールの上でも重要な問題となっている⁵⁾。しかし、現状では性器ヘルペスの撲滅あるいは制圧は非常に難しく、性の自由化が進む中で、先進国、開発途上国を問わず世界的に増加の一途をたどっている³⁾。

病原体

単純ヘルペスウイルス1型および2型; Herpes simplex virus(HSV)type 1 and type 2である。ヘルペスウイルス科、アルファヘルペス亜科に属するHSVは外径120~130nmの球状ウイルスで、外側から順にエンベロープ、テグメント、カプシド、コアの基本構造をもつ¹⁾(写真)。約15万塩基対の二本鎖線状DNAを有し、約80の蛋白をコードしている。生物、化学、物理学的性状の違いからHSV-1とHSV-2の2型に分けられるが、いずれも局所粘膜から感染すると、増殖して局所に病変を形成すると同時に知覚神経を上行して、口腔周辺の感染では三叉神経節、性器周辺の感染では仙髄神経節へ入って潜伏状態に入るのが特徴である。宿主の免疫が低下する等の何らかの刺激があると、再活性化して神経を下行し、前とほぼ同じ場所にふたたび病変を形成するが、その間のメカニズムは明らかになっていない。

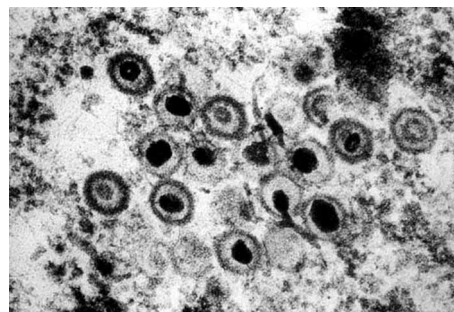


写真 単純ヘルペスウイルス2型の電子顕微鏡像

臨床症状

外部から入ったHSVの初感染によって起こる初発(急性型)と、潜伏感染していたHSVの再活性化によって起こる再発(再発型: 過去に性器ヘルペスの病変を経験している場合) および非初感染初発(誘発型: 過去に感染していたが無症状で、免疫低下を契機としてウイルスが活性化し、初めて病変を経験する場合)の3種類の臨床型に分けられる⁶⁾。急性型が症状はもっとも重い。感染機会があってから2~21日後に外陰部の不快感、掻痒感等の前駆症状ののち、発熱、全身倦怠感、所属リンパ節の腫脹、強い疼痛等を伴って、多発性の浅い潰瘍や小水疱が急激に出現する。病変部位は男性では包皮、冠状溝、亀頭、女性では外陰部や子宮頸部である。髄膜炎を合併することもある。無治療では、治癒までに2~4週間近く要する。女性では排尿困難や歩行困難のため、入院加療を余儀なくされることもある。

再発型は、心身の疲労、月経、性交その他の刺激が誘因となって起こるが、急性型に比べて病変は小さく数も少ない等症状は軽く、1週間以内に治癒することが多い。再発の回数は月2~3回から年1~2回と様々である。HSV-2による場合の方がより再発しやすい。年を重ねるにつれ、再発の回数は減少してくるのが一般的である。誘発型では、免疫低下の程度によってはかなり高度の症状を呈する。

病原診断

診断にはウイルス分離がもっとも確実であるが、病変部からのウイルス抗原の直接証明も簡便で、迅速に結果が得られる。直接検出する場合は、水疱や潰瘍病変からウイルス感染細胞を綿棒で採取し、スライドグラスに塗抹する。HSV-1、HSV-2各々の型特異蛋白を標的としたモノクローナル抗体を用いて、蛍光抗体法により同定を行う⁷⁾。

通常用いられる補体結合や中和等の血清診断法では、幼少時にHSV-1に感染している人においてHSV-1による抗体の交差反応を除外できないため、性器ヘルペスを診断するのは難しい。HSVに対して初感染の場合のみ、急性期と回復期のペア血清で有意の抗体上昇によって診断することが可能である。また、HSV-2型特異抗体が検出される場合も、2型性器ヘルペスに罹患していると推定できる。HSVは同一個体において幼少期のHSV-1感染、青年期以降の性器へのHSV-1、HSV-2感染、再発による病変形成といった様々な病態を取り得るので、血清抗体から病態を鑑別するのは困難である⁸⁾。

治療・予防

性器ヘルペスの治療にはアシクロビル(商品名ゾビラックス)を用いる⁹⁾。急性型等症状が強い場合には、経口または静注による全身療法を行う。経口剤としては、アシクロビル200mgの錠剤を1日5錠、5日間投与する。副作用がほとんどなく、また耐性ウイルスも、免疫不全者でない限りわが国では見つかっていない。再発型のような軽い症状に対しては軟膏タイプでもよい。

性器ヘルペスの予防は、HSVを排出している相手との直接の性的接触を避ける以外に方法はないが、性器や口腔にはつきした病変があればまだしも、無症状でウイルスを排出している場合も多いので、なかなか困難である。パートナーがHSVを保有していないことが確実な場合以外、予防のためにはコンドームを使用すべきである。ただし、病変が広範囲にわたる場合にはコンドームを用いても防ぎきれないものではない。ワクチンはまだ開発されていない。

感染症法における取り扱い

性器ヘルペスウイルス感染症は4類感染症定点把握疾患であり、全国約900カ所の性感染症定点医療機関より毎月報告がなされている。報告のための基準は以下の通りである。

診断した医師の判断により、症状や所見から当該疾患が疑われ、かつ、以下の基準を満たすもの。

- ・男女ともに、性器や殿部にヘルペス特有な有痛性の一から多数の小さい水疱性あるいは浅い潰瘍性病変を認めるもの。
- なお、血清抗体のみ陽性のものは除外する。

【文献】

- 1) ヘルペスウイルス科. 医学ウイルス学(White DO, Fenner FJ編、第4版、北村敬訳)近代出版. 1996 p.283-309
- 2) わが国における単純ヘルペスウイルス2型特異抗体の保有状況. 橋戸円他. 医学のあゆみ 1990 152:669-70
- 3) Age-Specific Prevalence of Infection with Herpes Simplex Virus Types 2 and 1: A Global Review. Smith JS, et al. JID 2002 186 suppl 1:S3-S28
- 4) 新生児ヘルペス. 森島恒雄. ヘルペスウイルス感染症(新村真人・山西弘一編)中外医薬社 1996 p.144-151
- 5) Herpes simplex virus type 2 and other genital ulcerative infections as a risk factor for HIV-1 acquisition. Keet IP et al. Genitourin Med 1990 66:330-3
- 6) 性器ヘルペスウイルス感染症 男性. 廣瀬崇興, 同 女性. 川名尚, 感染症の診断・治療ガイドライン 日医会誌1999 122:232-235
- 7) 蛍光標識モノクローナル抗体(MicroTrak Herpes)による単純ヘルペスウイルス感染症の診断. 川名尚他. 感染症会誌 1987 61:1030-7
- 8) ヘルペスウイルスの血清診断. 橋戸円. ヘルペスウイルス感染症(新村真人・山西弘一編). 中外医薬社. 1996 p.68-75
- 9) Progress in Meeting Today's Demands in Genital Herpes: An Overview of Current Management. Patel R. JID 2002 186 suppl 1:S47-S56

(国立感染症研究所感染症情報センター 橋戸 円)



読者のコーナー

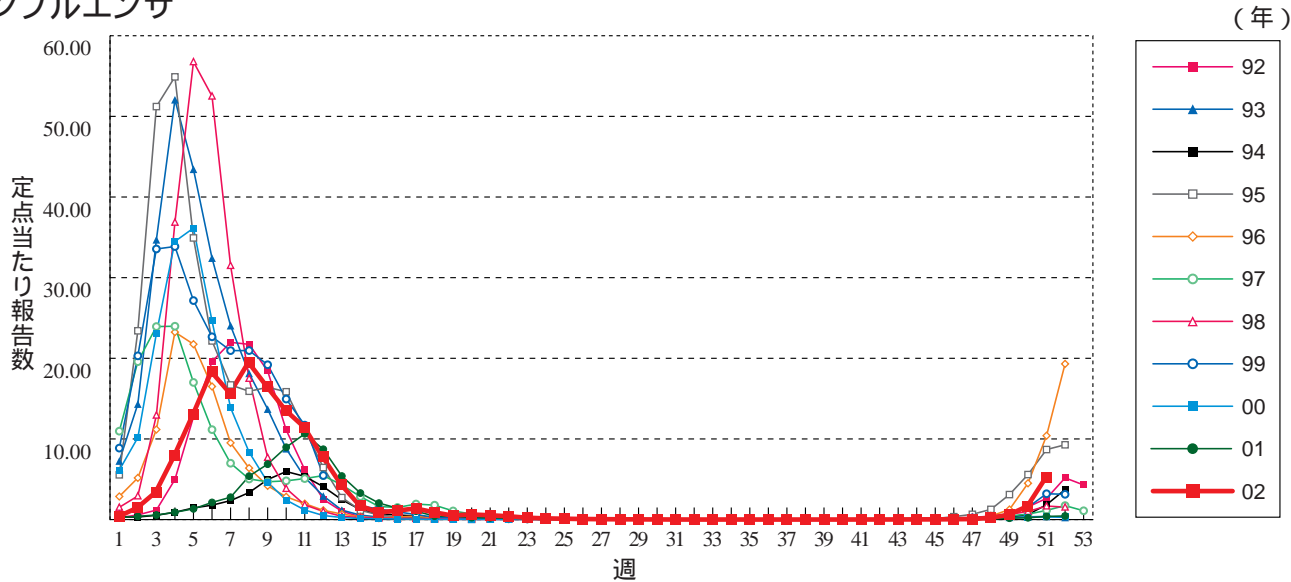
「読者のコーナー」では読者のみなさまからのご意見・ご質問をお待ちしております。
ご意見・ご質問は、題名(タイトル)の一番はじめにidwr-Q:をつけてこちらまでEメールでどうぞ。

idsc-query@nih.go.jp

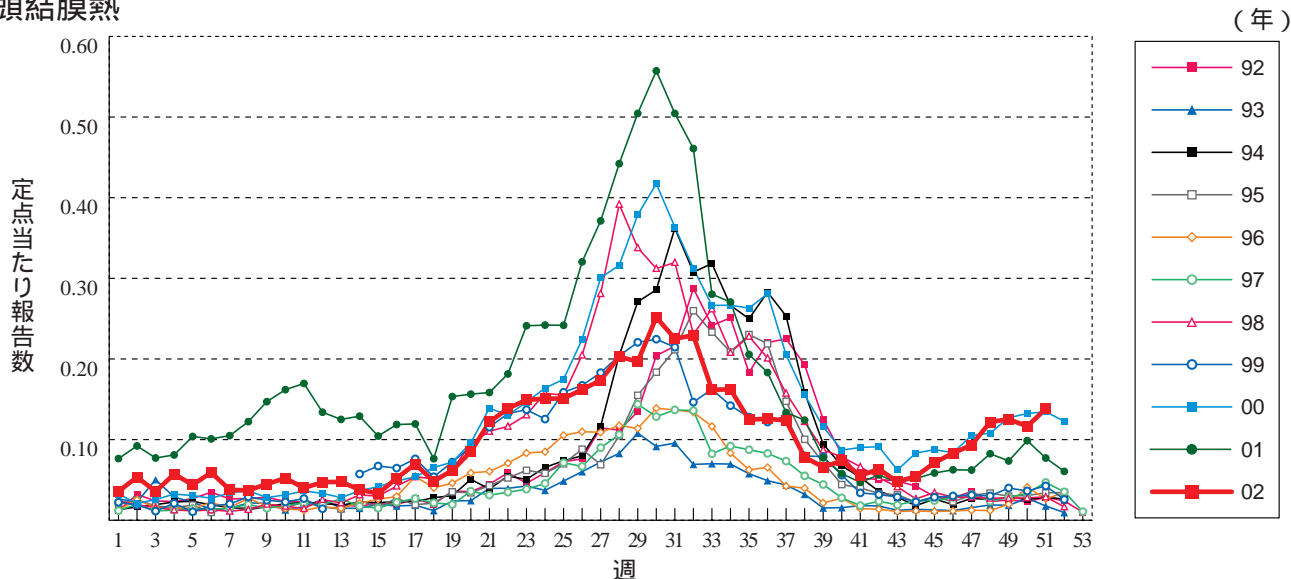


グラフ総覧(51週)

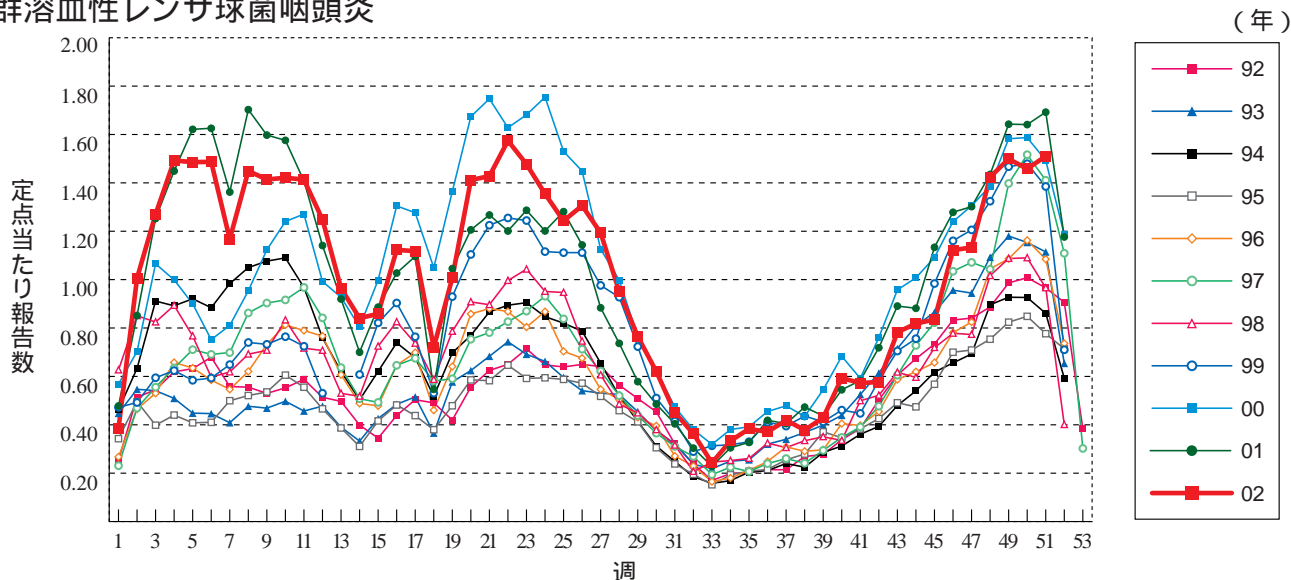
インフルエンザ



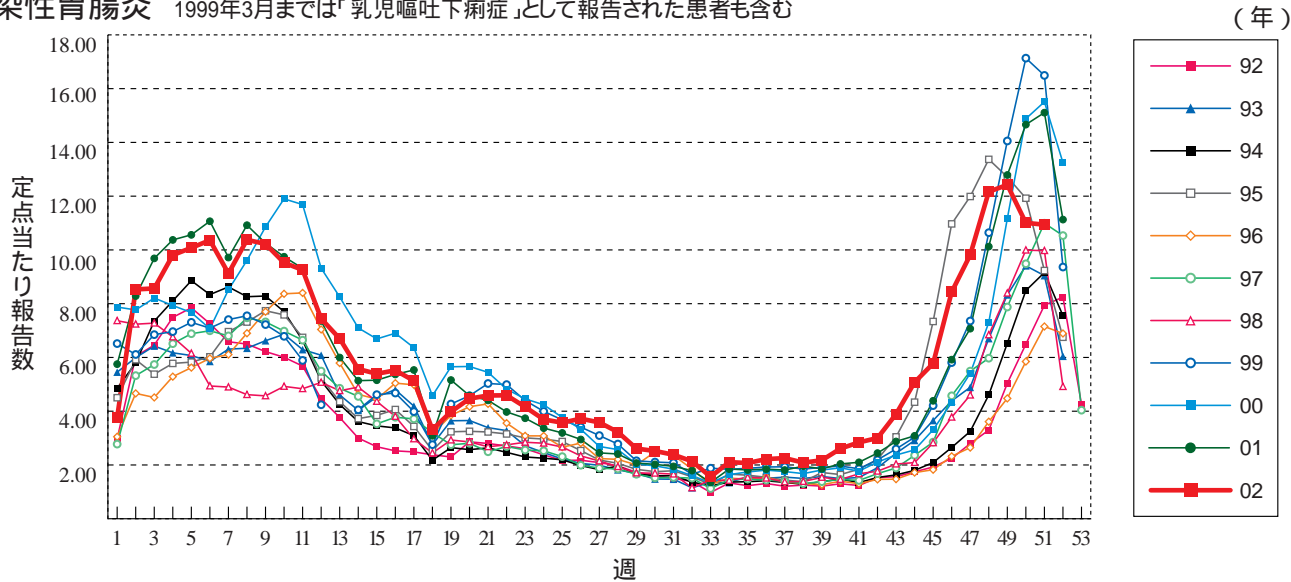
咽頭結膜熱



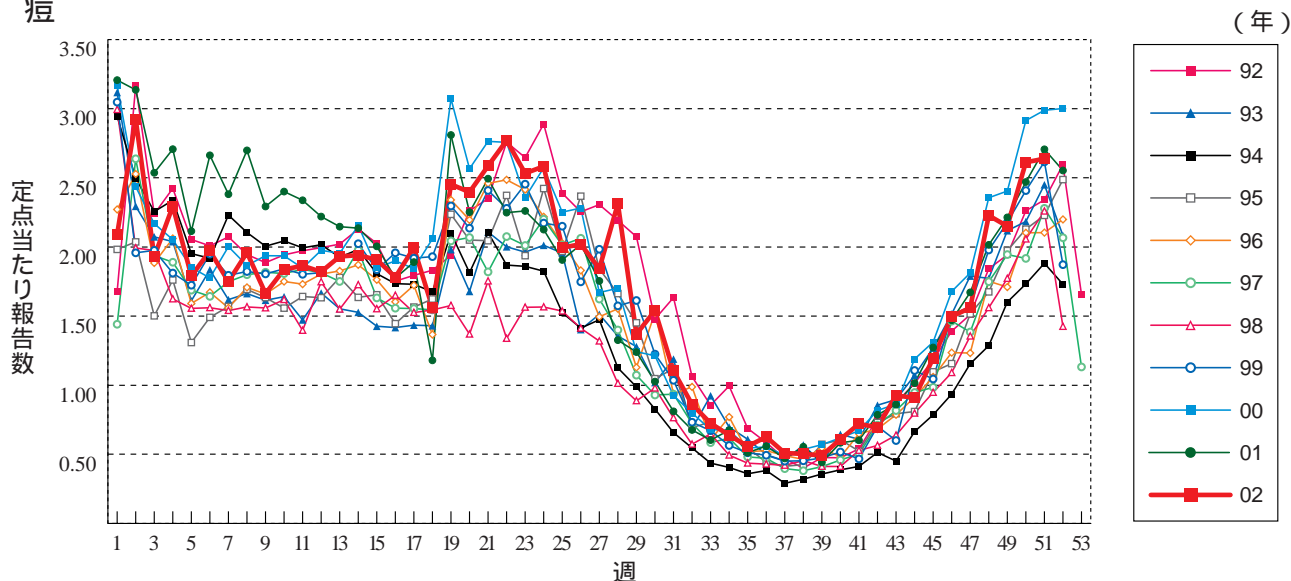
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



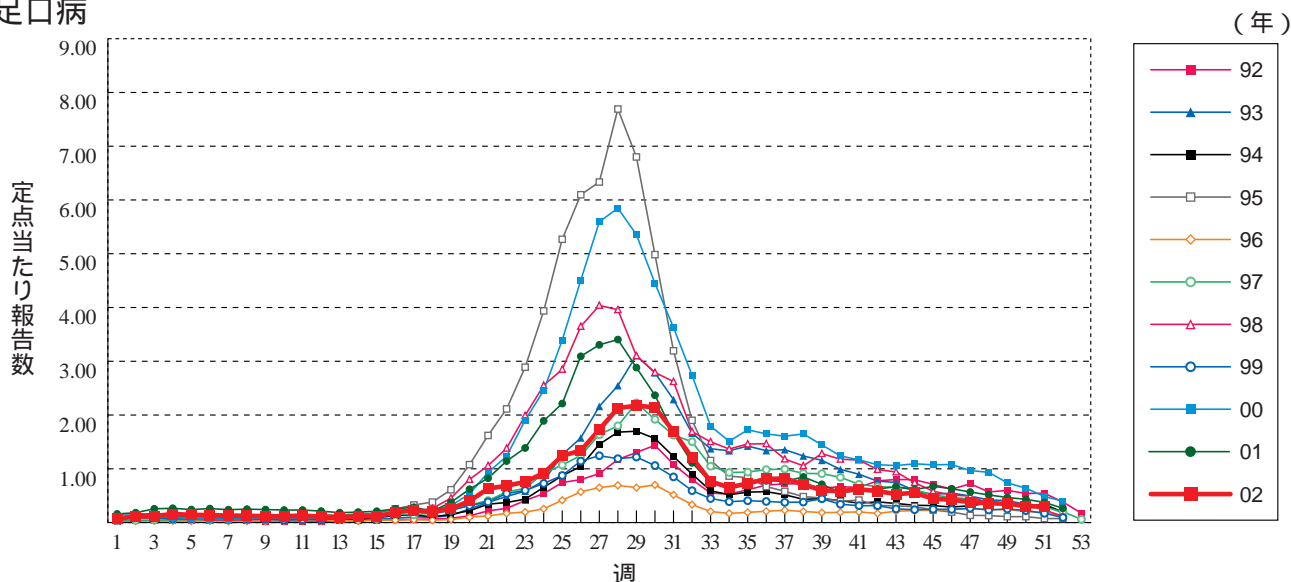
感染性胃腸炎 1999年3月までは「乳児嘔吐下痢症」として報告された患者も含む



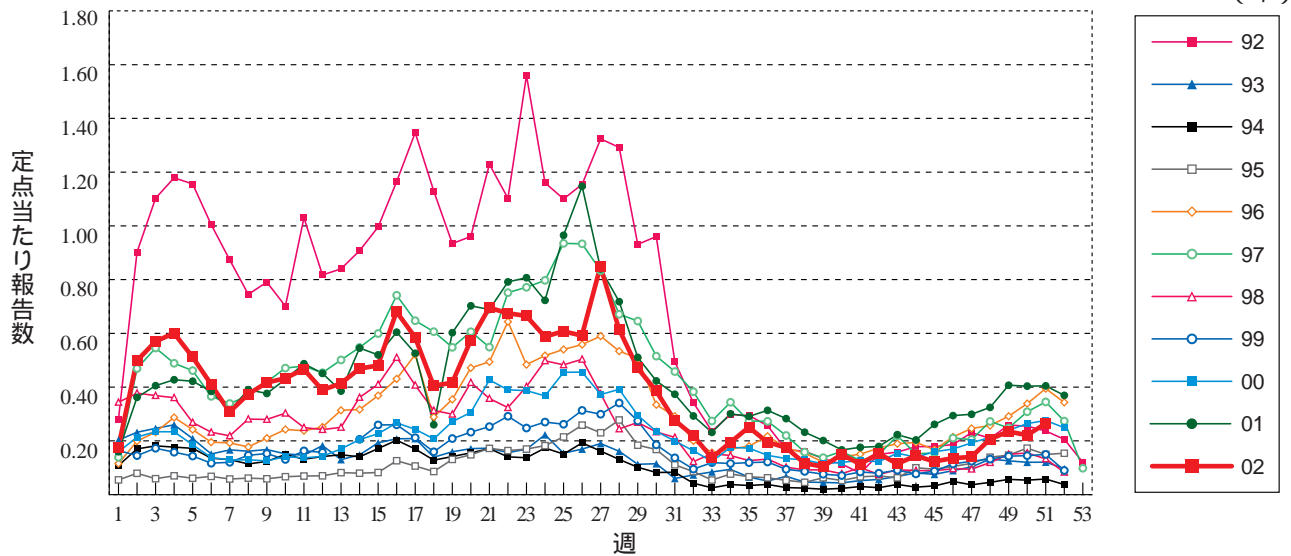
水痘



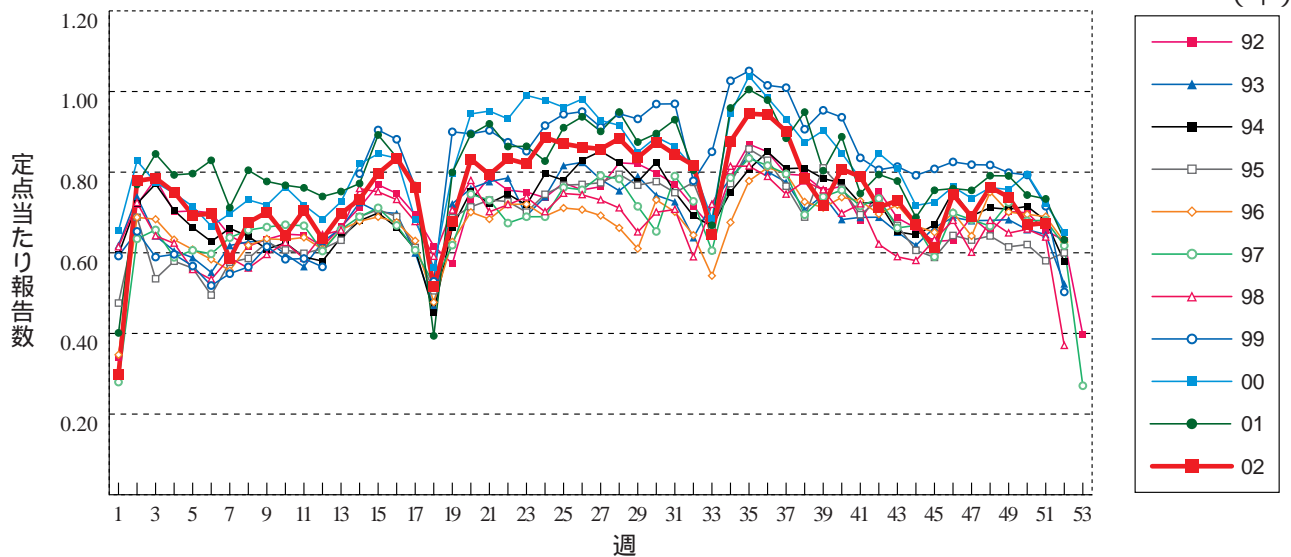
手足口病



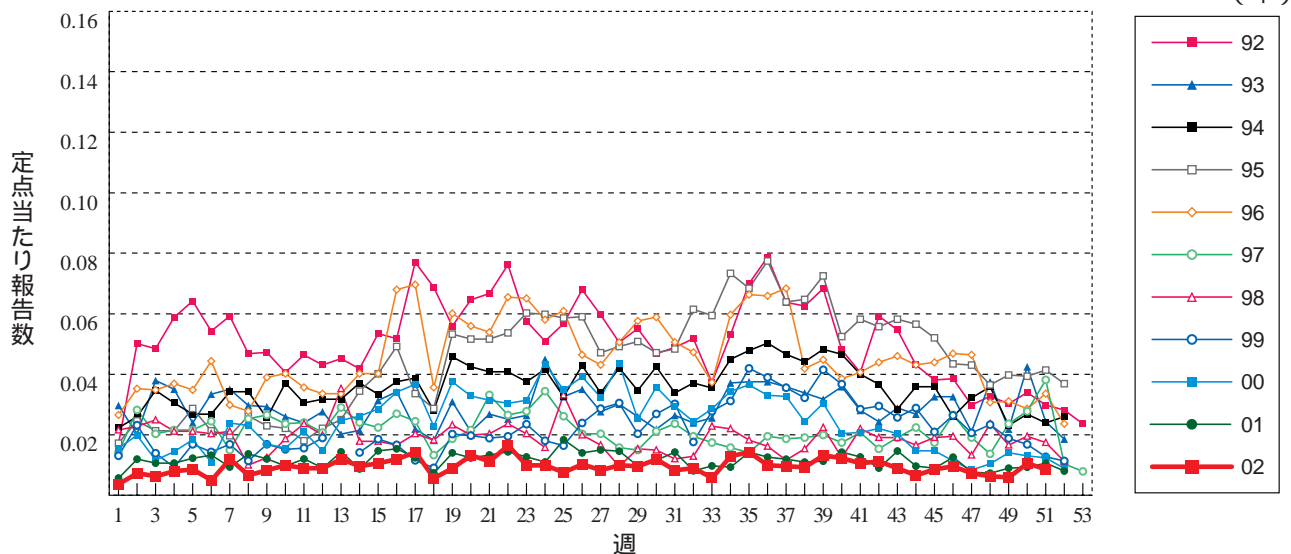
伝染性紅斑



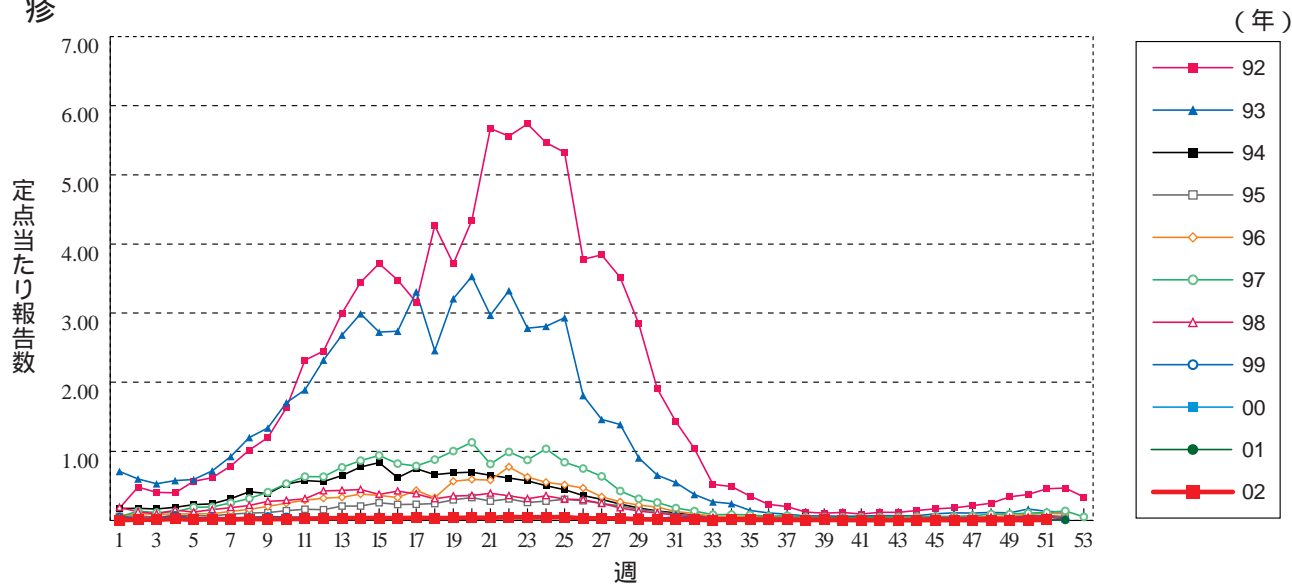
突発性発疹



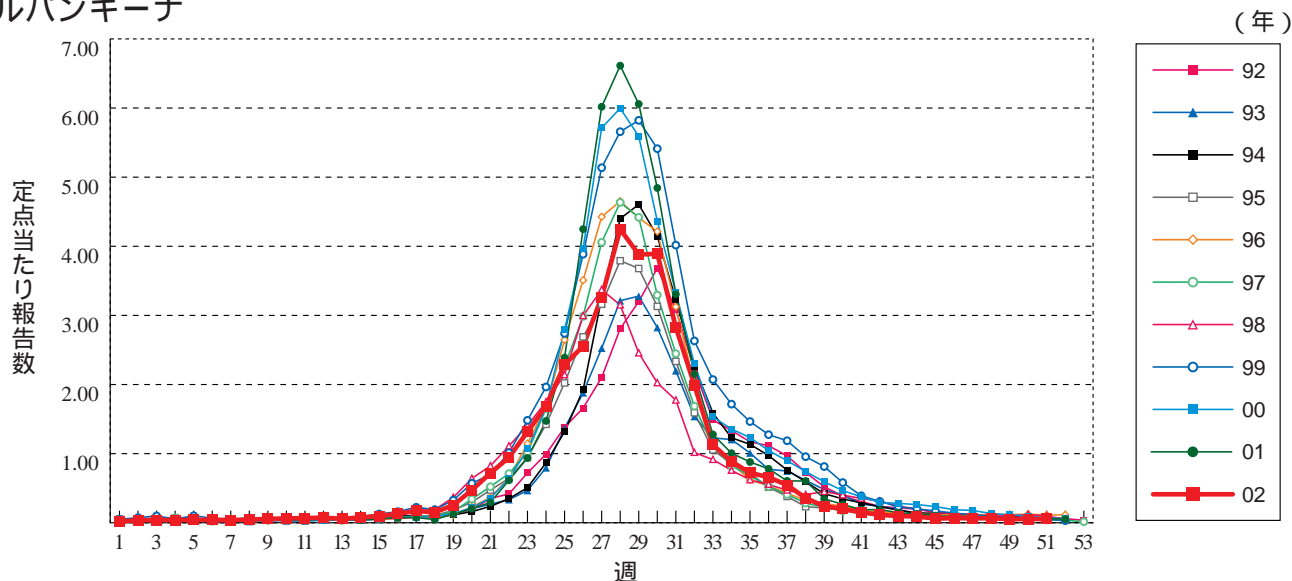
百日咳



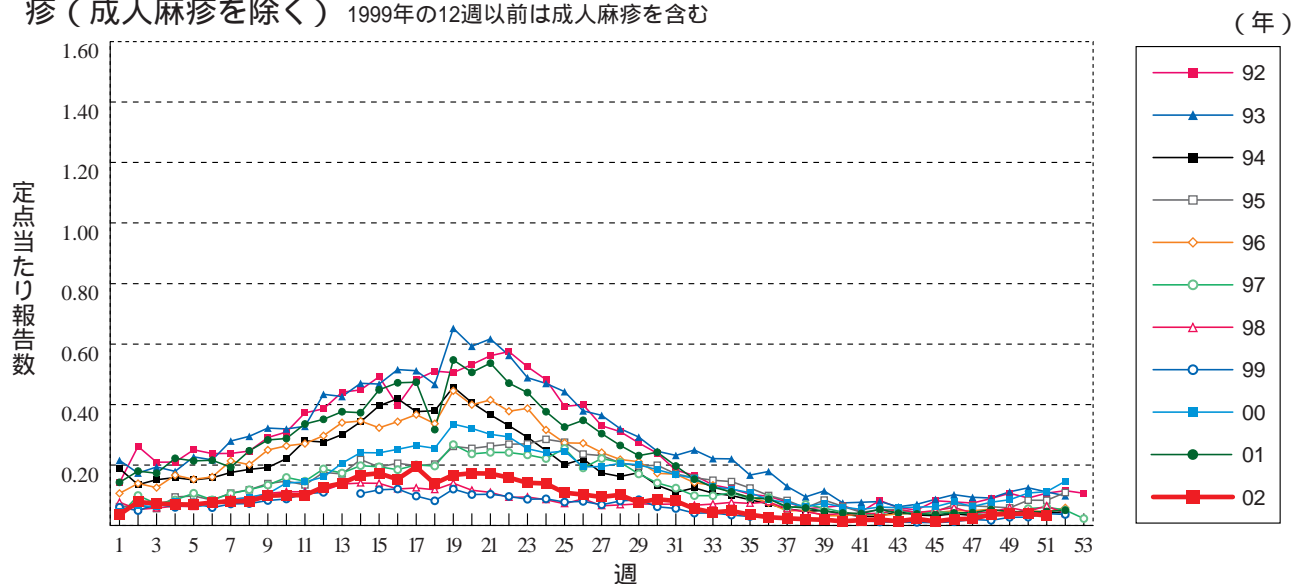
風 疹



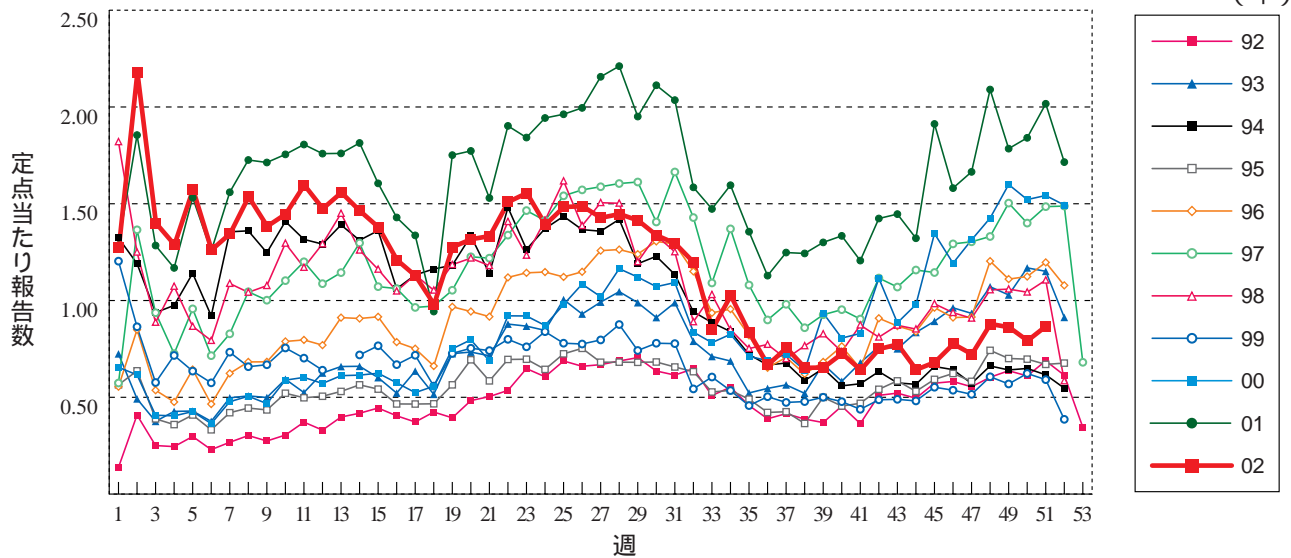
ヘルパンギーナ



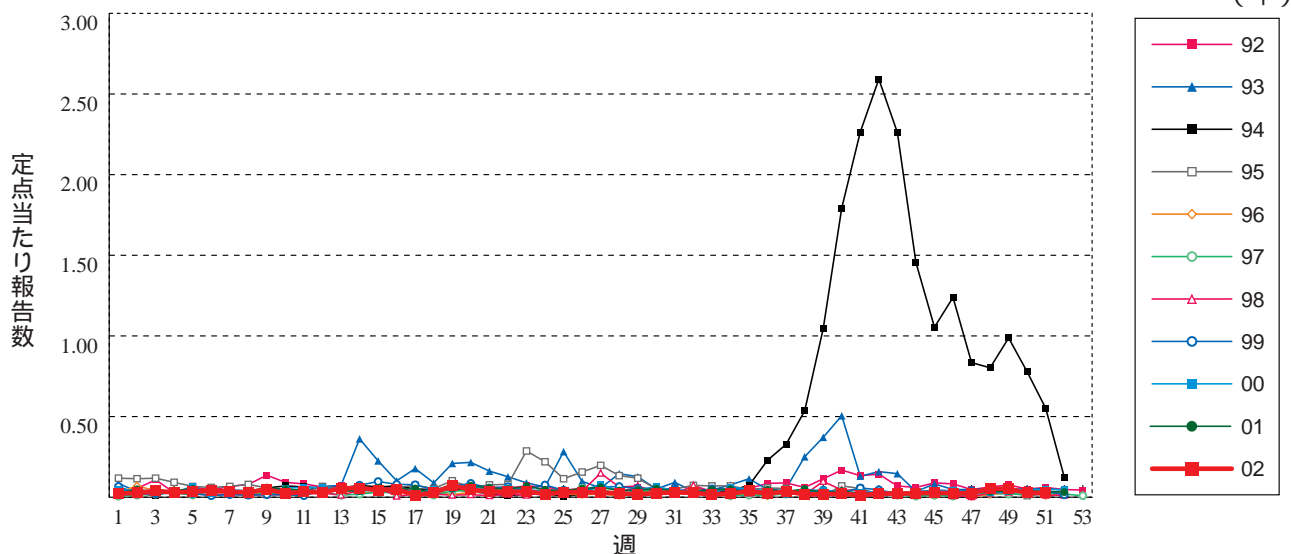
麻 疹 (成人麻疹を除く) 1999年の12週以前は成人麻疹を含む



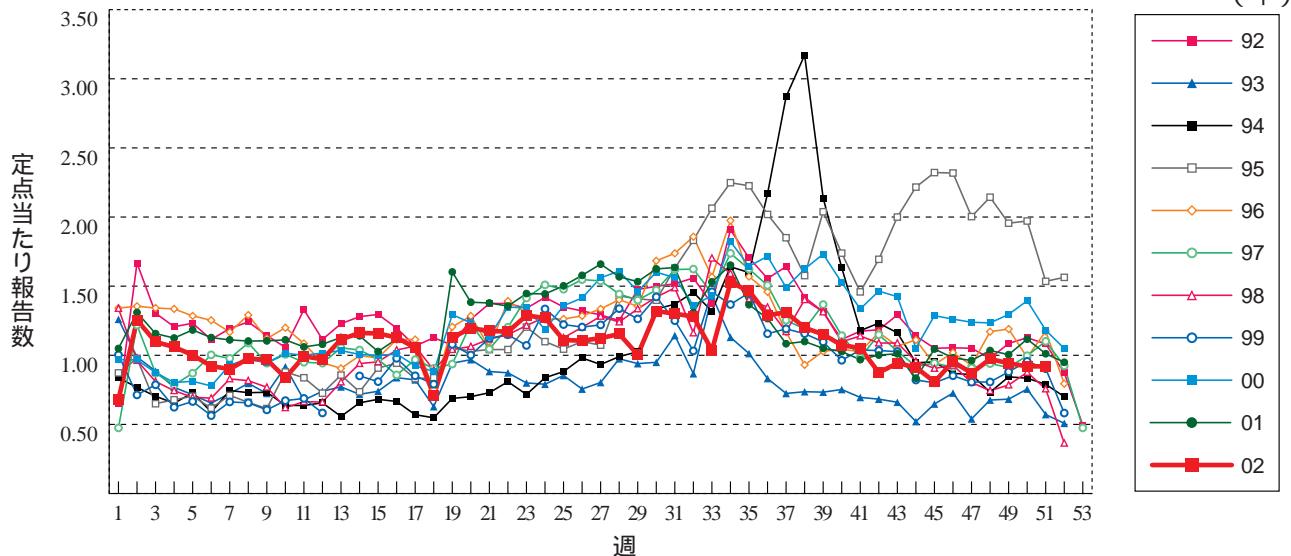
流行性耳下腺炎



急性出血性結膜炎

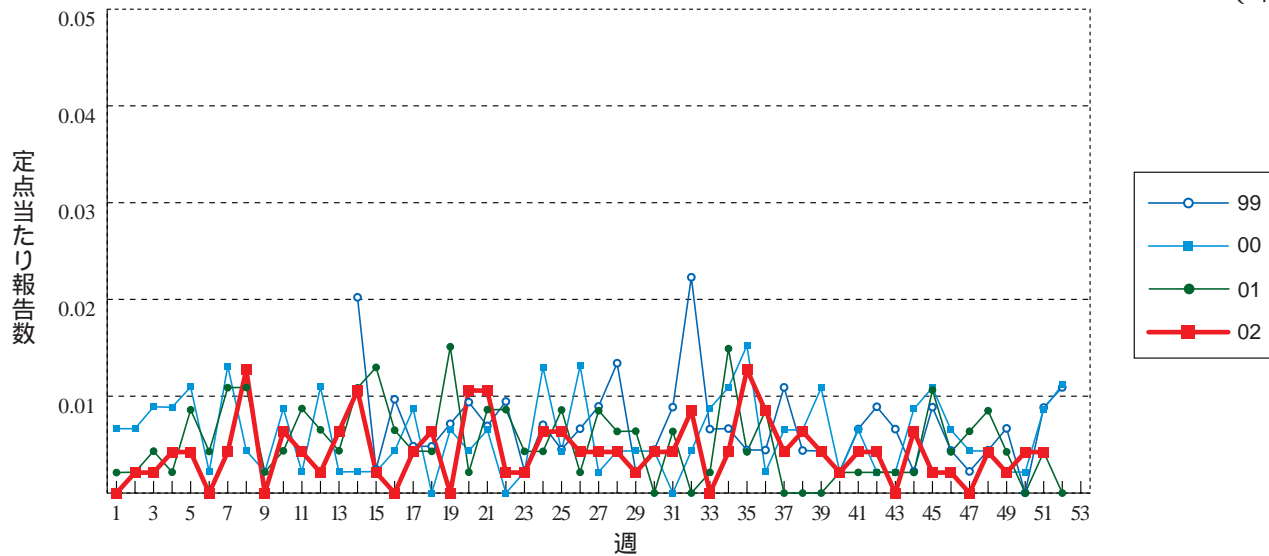


流行性角結膜炎



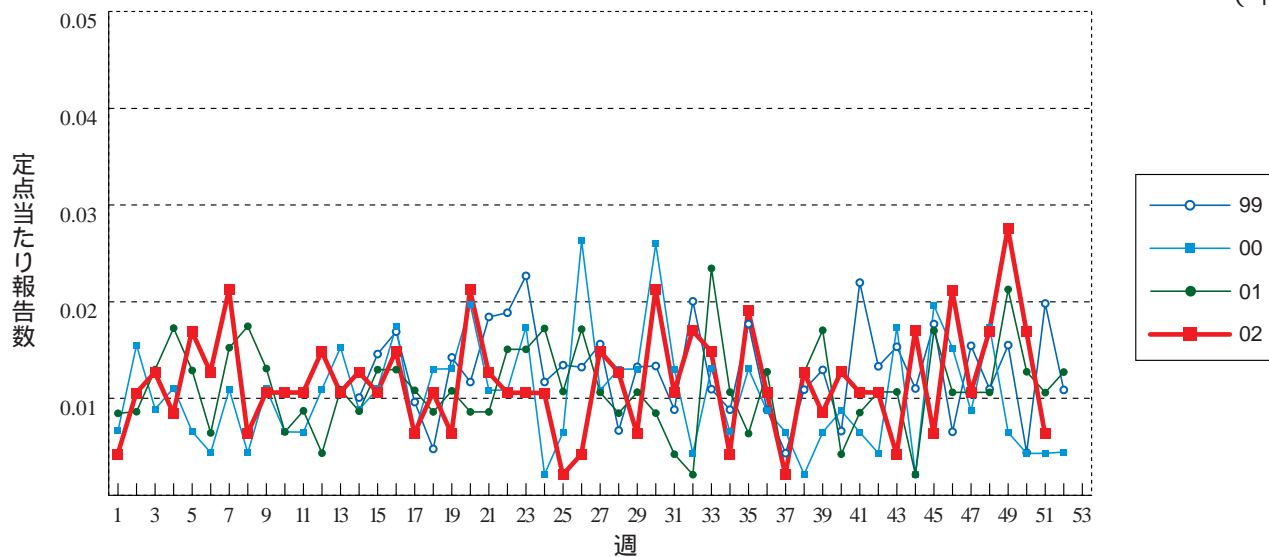
急性脳炎 (日本脳炎を除く)

(年)



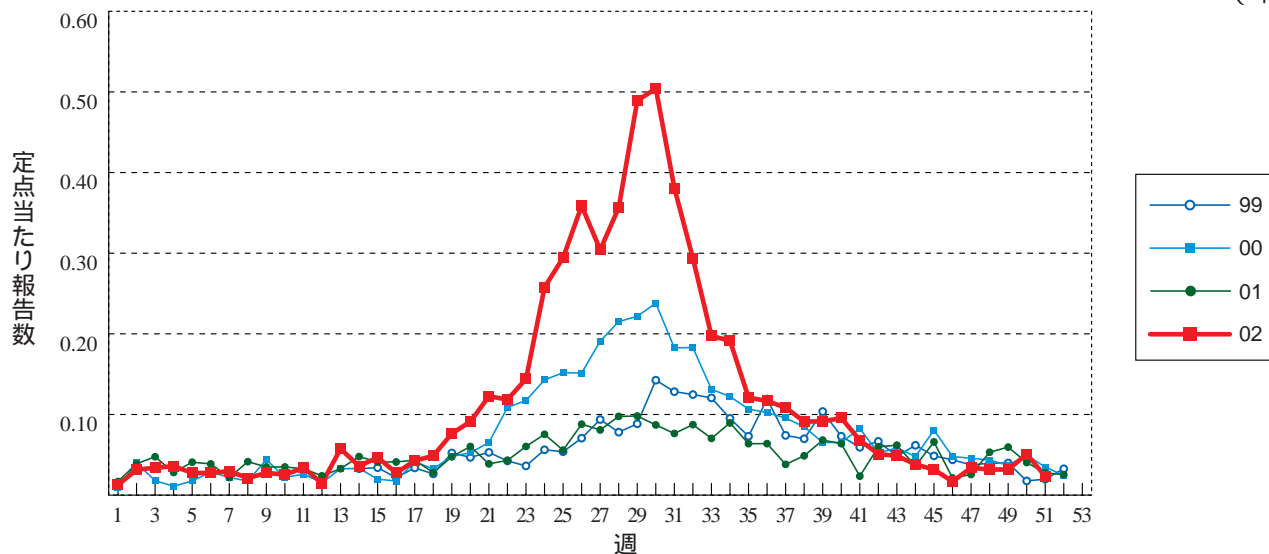
細菌性髄膜炎

(年)



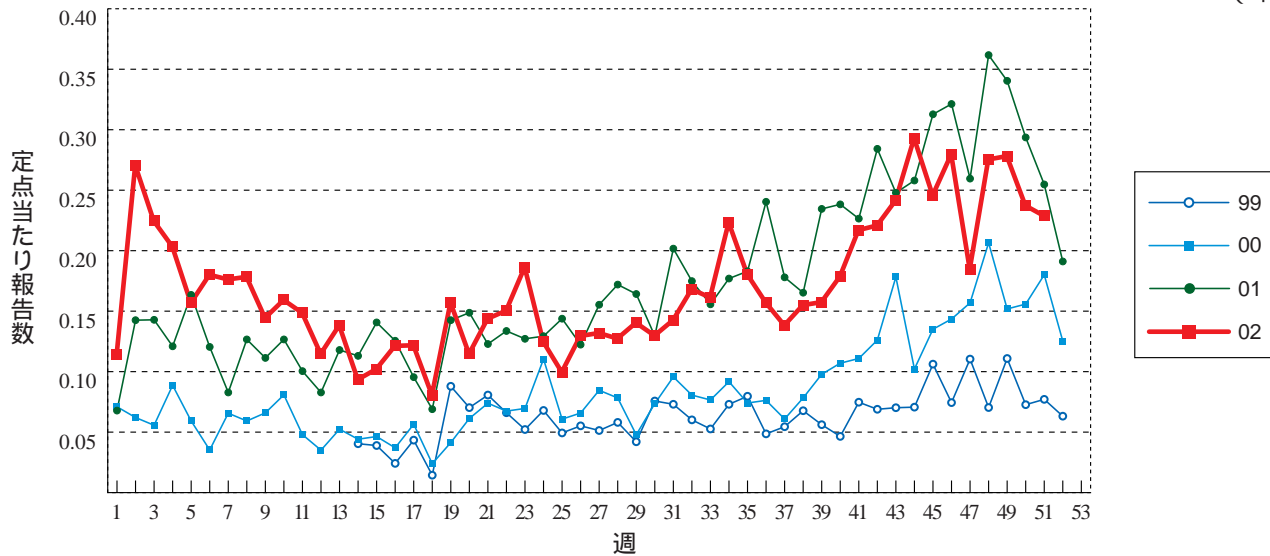
無菌性髄膜炎

(年)



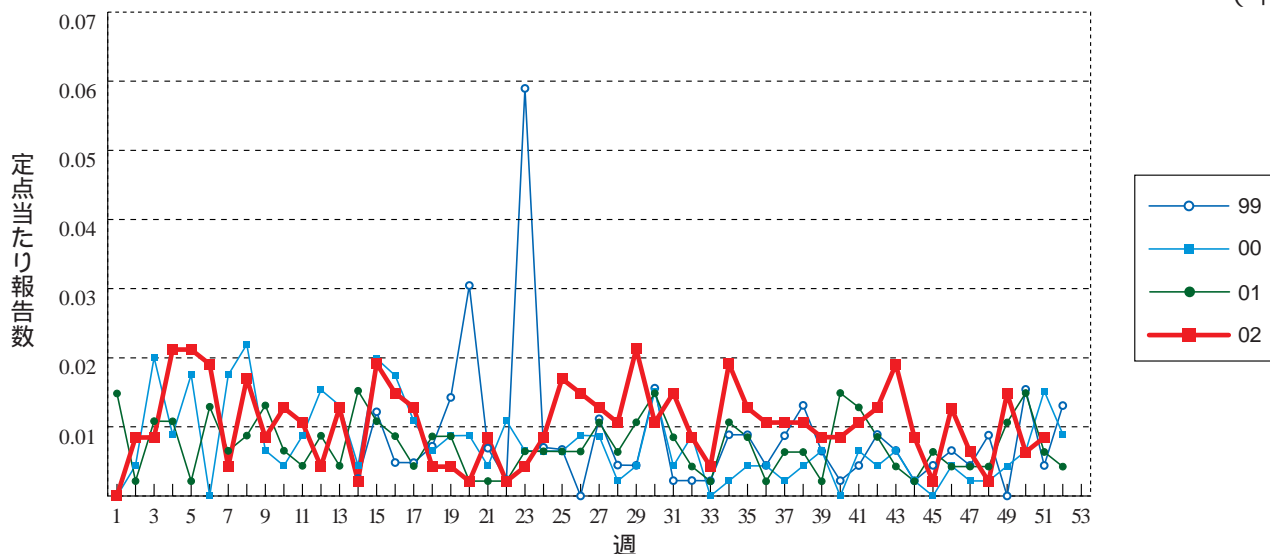
マイコプラズマ肺炎

(年)



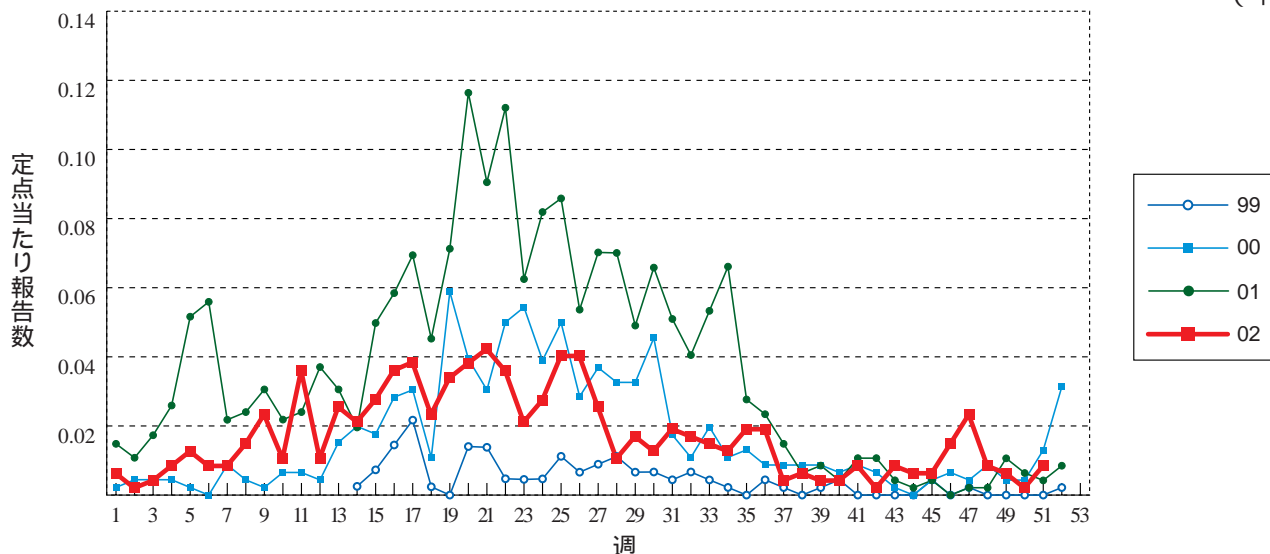
クラミジア肺炎 (オウム病を除く)

(年)



成人麻疹

(年)





51週のデータ

注)表中の報告数は12月26日集計分であり、その後の報告数は次週以降の累計に反映されます。

第3101表 報告数・累積報告数，疾病・都道府県別

平成14年51週

	エボラ出血熱		クリミア・コンゴ出血熱		ペスト		マールブルグ病		ラッサ熱		コレラ		細菌性赤痢		腸チフス		バラチフス	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	51	7	688	-	62	1	33	
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	14	-	2	-	2	
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	9	-	-	-	-	
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	1	-	-	
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	18	-	-	-	1	
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-	
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	43	-	1	-	-	
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10	-	-	-	-	
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	31	-	3	-	1	
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11	1	82	-	3	-	1	
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	14	3	110	-	22	-	11	
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	35	-	4	1	2	
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	12	-	1	-	-	
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	1	-	-	
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	27	-	-	-	-	
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	12	-	1	-	-	
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	26	-	-	-	1	
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	37	-	-	-	1	
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	18	-	1	-	2	
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	9	-	1	-	1	
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	1	
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	15	-	1	-	3	
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	43	-	6	-	3	
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	14	-	4	-	2	
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	3	-	-	-	-	
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	5	-	1	-	-	
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	-	1	-	1	
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	1	-	-	
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	19	-	4	-	-	
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	-	-	-	-	
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	31	-	-	-	-	
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	-	1	-	-	
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

第3101表 報告数・累積報告数，疾病・都道府県別

平成14年51週

	急性灰白髄炎		ジフテリア		腸管出血性大腸菌感染症		アメーバ赤痢		エキノコックス症		黄熱		オウム病		回歸熱		ウイルス性肝炎	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	-	-	-	16	3121	4	439	-	9	-	-	-	55	-	-	6	906
北海道	-	-	-	-	-	121	-	17	-	8	-	-	-	3	-	-	-	24
青森県	-	-	-	-	-	24	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
岩手県	-	-	-	-	-	89	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10
宮城県	-	-	-	-	-	71	-	9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	40
秋田県	-	-	-	-	-	55	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10
山形県	-	-	-	-	-	40	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	1	14
福島県	-	-	-	-	-	19	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9
茨城県	-	-	-	-	-	18	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	1	17
栃木県	-	-	-	-	1	180	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8
群馬県	-	-	-	-	-	42	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	12
埼玉県	-	-	-	-	-	71	-	13	-	-	-	-	-	1	-	-	-	39
千葉県	-	-	-	-	-	137	-	19	-	-	-	-	-	-	-	-	-	44
東京都	-	-	-	-	2	180	1	119	-	-	-	-	-	5	-	-	-	154
神奈川県	-	-	-	-	1	90	-	37	-	-	-	-	-	-	-	-	-	42
新潟県	-	-	-	-	-	22	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
富山県	-	-	-	-	-	33	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7
石川県	-	-	-	-	3	110	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9
福井県	-	-	-	-	-	32	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
山梨県	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
長野県	-	-	-	-	-	88	-	3	-	-	-	-	-	2	-	-	-	11
岐阜県	-	-	-	-	-	19	1	13	-	-	-	-	-	3	-	-	-	23
静岡県	-	-	-	-	-	45	-	6	-	-	-	-	-	2	-	-	-	21
愛知県	-	-	-	-	1	119	-	22	-	-	-	-	-	1	-	-	-	47
三重県	-	-	-	-	1	27	-	5	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2
滋賀県	-	-	-	-	-	13	-	6	-	1	-	-	-	-	-	-	-	2
京都府	-	-	-	-	1	55	-	15	-	-	-	-	-	2	-	-	1	25
大阪府	-	-	-	-	-	210	1	59	-	-	-	-	-	5	-	-	1	68
兵庫県	-	-	-	-	-	181	1	23	-	-	-	-	-	3	-	-	-	48
奈良県	-	-	-	-	-	26	-	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	15
和歌山県	-	-	-	-	-	20	-	2	-	-	-	-	-	1	-	-	-	7
鳥取県	-	-	-	-	-	13	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	3
島根県	-	-	-	-	2	31	-	-	-	-	-	-	-	11	-	-	-	2
岡山県	-	-	-	-	-	92	-	7	-	-	-	-	-	2	-	-	-	19
広島県	-	-	-	-	-	53	-	3	-	-	-	-	-	8	-	-	1	40
山口県	-	-	-	-	1	30	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	1	20
徳島県	-	-	-	-	-	13	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
香川県	-	-	-	-	-	33	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
愛媛県	-	-	-	-	-	17	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9
高知県	-	-	-	-	-	15	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7
福岡県	-	-	-	-	-	262	-	9	-	-	-	-	-	2	-	-	-	30
佐賀県	-	-	-	-	-	170	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
長崎県	-	-	-	-	1	41	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
熊本県	-	-	-	-	2	62	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8
大分県	-	-	-	-	-	34	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
宮崎県	-	-	-	-	-	39	-	3	-	-	-	-	-	1	-	-	-	14
鹿児島県	-	-	-	-	-	33	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	12
沖縄県	-	-	-	-	-	40	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1

第3101表 報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成14年51週

	Q 熱		狂 犬 病		クリプト スポリジウム症		クロイツフェルト ・ヤコブ病		劇症型溶血性 レンサ球菌感染症		後天性 免疫不全症候群		コクシジ オイデス症		ジアルジア症		腎症候性出血熱	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	46	-	-	1	108	3	140	1	89	13	881	-	3	2	114	-	-
北海道	-	1	-	-	-	35	-	3	-	4	-	12	-	-	-	2	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	7	-	-	-	1	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-
山形県	-	1	-	-	-	-	-	2	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	6	-	2	-	3	-	-	-	2	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	1	-	4	-	-	-	33	-	-	-	2	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	14	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	5	1	20	-	-	-	1	-	-
埼玉県	-	2	-	-	-	-	-	3	1	4	-	28	-	-	-	1	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	5	-	3	-	7	1	39	-	1	-	4	-	-
東京都	-	35	-	-	-	3	-	12	-	12	3	356	-	-	-	44	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	13	-	2	2	64	-	-	-	11	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	3	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	3	-	2	-	1	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	3	-	-	-	1	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	10	-	-	-	4	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	24	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	1	-	-	-	-	-	3	-	1	-	6	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	1	-	-	-	-	-	3	-	4	-	16	-	-	-	1	-	-
愛知県	-	2	-	-	-	-	-	9	-	7	3	49	-	-	-	3	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	4	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	1	5	-	4	-	8	-	-	-	11	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	2	1	12	-	-	2	92	-	1	1	10	-	-
兵庫県	-	1	-	-	-	61	-	5	-	5	-	17	-	-	-	2	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	4	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-
岡山県	-	1	-	-	-	-	-	3	-	1	-	5	-	-	-	3	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	5	-	-	-	4	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	1	7	-	-	-	1	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-
福岡県	-	1	-	-	-	-	-	7	-	2	-	10	-	-	-	1	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	1	-	-	1	1	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	1	2	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	1	1	-	-	-	1	-	8	-	-	-	1	-	-

第3101表 報告数・累積報告数，疾病・都道府県別

平成14年51週

	髄膜炎菌性髄膜炎		先天性風疹症候群		炭疽		ツツガムシ病		デング熱		日本紅斑熱		日本脳炎		乳児ボツリヌス症		梅毒	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	8	-	1	-	-	9	315	-	50	-	36	-	8	-	-	6	555
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	20
青森県	-	-	-	-	-	-	-	9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	4
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	14	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7
山形県	-	-	-	-	-	-	-	10	-	1	-	-	-	-	-	-	-	5
福島県	-	-	-	-	-	-	1	45	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	14
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	10	-	1	-	-	-	-	-	-	-	6
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	10
千葉県	-	2	-	-	-	-	-	16	-	1	-	-	-	-	-	-	-	9
東京都	-	1	-	-	-	-	-	4	-	17	-	-	-	-	-	-	2	56
神奈川県	-	1	-	-	-	-	-	5	-	10	-	-	-	-	-	-	-	22
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	14	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
富山県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	3
石川県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	1	-	-	-	3
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
長野県	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10
静岡県	-	1	-	-	-	-	-	10	-	1	-	-	-	-	-	-	-	12
愛知県	-	1	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	25
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	16
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	1	-	1	-	-	2	113
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	6	-	1	-	3	-	-	-	-	-	29
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2	-	-	-	-	1	3
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2
島根県	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	11	-	1	-	-	-	4
岡山県	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	13
広島県	-	-	-	-	-	-	-	18	-	-	-	-	-	3	-	-	-	14
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	12
徳島県	-	-	-	-	-	-	1	2	-	1	-	2	-	-	-	-	-	4
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	16
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7
高知県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	7	-	-	-	-	-	4
福岡県	-	1	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	1	21
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
熊本県	-	-	-	-	-	-	1	4	-	-	-	1	-	-	-	-	-	15
大分県	-	-	-	-	-	-	1	18	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8
宮崎県	-	-	-	-	-	-	1	22	-	-	-	3	-	-	-	-	-	3
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	4	52	-	-	-	6	-	-	-	-	-	9
沖縄県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6

第3101表 報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成14年51週

	破傷風		バンコマイシン耐性腸球菌感染症		ハンタウイルス肺症候群		Bウイルス病		ブルセラ症		発疹チフス		マラリア		ライム病		レジオネラ症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	2	104	-	42	-	-	-	-	-	1	-	-	-	76	-	15	-	164
北海道	-	6	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	7	-	-
青森県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
秋田県	-	1	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
山形県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	5
福島県	-	8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	5
茨城県	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	3
栃木県	1	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
群馬県	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	9
千葉県	-	2	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2
東京都	-	6	-	8	-	-	-	-	-	1	-	-	-	26	-	1	-	17
神奈川県	-	3	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	3	-	2
新潟県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	3
富山県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
岐阜県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
静岡県	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	10
愛知県	-	3	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	4
三重県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
京都府	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	2
大阪府	1	2	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	13	-	-	-	11
兵庫県	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	4
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
鳥取県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
岡山県	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	5
広島県	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
山口県	-	4	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
徳島県	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	1
高知県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
福岡県	-	3	-	9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	3
佐賀県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
大分県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
宮崎県	-	3	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	38
鹿児島県	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	10
沖縄県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3

第3101表 報告数・累積報告数，疾病・都道府県別

平成14年51週

	ウエストナイル熱 (ウエストナイル脳炎を含む)	
	報告数	累積
総 数	-	-
北海道	-	-
青森県	-	-
岩手県	-	-
宮城県	-	-
秋田県	-	-
山形県	-	-
福島県	-	-
茨城県	-	-
栃木県	-	-
群馬県	-	-
埼玉県	-	-
千葉県	-	-
東京都	-	-
神奈川県	-	-
新潟県	-	-
富山県	-	-
石川県	-	-
福井県	-	-
山梨県	-	-
長野県	-	-
岐阜県	-	-
静岡県	-	-
愛知県	-	-
三重県	-	-
滋賀県	-	-
京都府	-	-
大阪府	-	-
兵庫県	-	-
奈良県	-	-
和歌山県	-	-
鳥取県	-	-
島根県	-	-
岡山県	-	-
広島県	-	-
山口県	-	-
徳島県	-	-
香川県	-	-
愛媛県	-	-
高知県	-	-
福岡県	-	-
佐賀県	-	-
長崎県	-	-
熊本県	-	-
大分県	-	-
宮崎県	-	-
鹿児島県	-	-
沖縄県	-	-

第3102表 報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

平成14年51週

	インフルエンザ		咽頭結膜熱		A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘		手足口病		伝染性紅斑		突発性発疹		百日咳	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	24593	5.22	420	0.14	4593	1.51	33266	10.94	8022	2.64	898	0.30	804	0.26	2049	0.67	26	0.01
北海道	736	3.20	10	0.07	428	2.95	570	3.93	339	2.34	38	0.26	202	1.39	79	0.54	-	-
青森県	15	0.23	-	-	97	2.31	247	5.88	116	2.76	14	0.33	4	0.10	25	0.60	-	-
岩手県	12	0.19	2	0.05	33	0.87	541	14.24	114	3.00	4	0.11	15	0.39	21	0.55	1	0.03
宮城県	50	0.52	9	0.15	111	1.88	1061	17.98	228	3.86	29	0.49	21	0.36	45	0.76	-	-
秋田県	131	2.38	91	2.60	60	1.71	314	8.97	77	2.20	1	0.03	5	0.14	20	0.57	-	-
山形県	142	2.96	2	0.07	66	2.20	390	13.00	75	2.50	19	0.63	14	0.47	32	1.07	-	-
福島県	103	1.29	1	0.02	49	1.02	443	9.23	119	2.48	23	0.48	21	0.44	35	0.73	-	-
茨城県	82	0.70	1	0.01	55	0.74	611	8.26	133	1.80	18	0.24	5	0.07	17	0.23	-	-
栃木県	71	1.01	7	0.15	62	1.35	634	13.78	140	3.04	31	0.67	7	0.15	23	0.50	2	0.04
群馬県	108	1.08	1	0.02	98	1.58	846	13.65	82	1.32	2	0.03	25	0.40	42	0.68	-	-
埼玉県	2091	8.17	15	0.09	305	1.91	2452	15.33	424	2.65	23	0.14	23	0.14	112	0.70	1	0.01
千葉県	477	2.33	19	0.15	387	2.95	1891	14.44	277	2.11	5	0.04	37	0.28	82	0.63	-	-
東京都	331	1.86	18	0.13	116	0.82	1485	10.46	228	1.61	9	0.06	24	0.17	68	0.48	-	-
神奈川県	539	1.64	18	0.09	200	0.98	2678	13.06	455	2.22	36	0.18	36	0.18	164	0.80	2	0.01
新潟県	164	1.66	29	0.48	123	2.05	473	7.88	184	3.07	25	0.42	40	0.67	31	0.52	-	-
富山県	83	1.73	2	0.07	95	3.28	513	17.69	96	3.31	31	1.07	12	0.41	21	0.72	-	-
石川県	135	2.81	12	0.41	39	1.34	339	11.69	117	4.03	5	0.17	3	0.10	18	0.62	-	-
福井県	61	1.91	14	0.64	79	3.59	172	7.82	91	4.14	11	0.50	3	0.14	19	0.86	-	-
山梨県	115	2.80	-	-	32	1.28	222	8.88	23	0.92	10	0.40	1	0.04	12	0.48	-	-
長野県	210	2.44	2	0.04	122	2.26	712	13.19	190	3.52	21	0.39	21	0.39	37	0.69	-	-
岐阜県	114	1.63	2	0.04	36	0.77	609	12.96	159	3.38	66	1.40	25	0.53	31	0.66	-	-
静岡県	207	1.51	-	-	116	1.35	1069	12.43	390	4.53	34	0.40	28	0.33	72	0.84	1	0.01
愛知県	496	2.56	5	0.03	202	1.11	2038	11.20	432	2.37	69	0.38	44	0.24	100	0.55	3	0.02
三重県	126	1.73	2	0.04	90	2.00	1218	27.07	131	2.91	22	0.49	19	0.42	50	1.11	-	-
滋賀県	287	5.42	-	-	7	0.22	362	11.31	50	1.56	8	0.25	10	0.31	21	0.66	-	-
京都府	586	4.65	9	0.12	75	0.99	804	10.58	131	1.72	26	0.34	-	-	37	0.49	2	0.03
大阪府	2294	7.55	23	0.12	140	0.72	1483	7.61	389	1.99	39	0.20	18	0.09	118	0.61	-	-
兵庫県	1881	9.50	9	0.07	123	0.96	1479	11.55	316	2.47	18	0.14	29	0.23	89	0.70	1	0.01
奈良県	235	4.27	-	-	22	0.63	525	15.00	88	2.51	19	0.54	6	0.17	22	0.63	-	-
和歌山県	42	0.84	1	0.03	36	1.16	692	22.32	124	4.00	-	-	2	0.06	16	0.52	-	-
鳥取県	227	7.83	2	0.11	38	2.00	329	17.32	42	2.21	4	0.21	14	0.74	21	1.11	-	-
島根県	47	1.24	-	-	9	0.39	116	5.04	56	2.43	-	-	2	0.09	5	0.22	-	-
岡山県	240	2.86	1	0.02	25	0.46	618	11.44	83	1.54	2	0.04	8	0.15	15	0.28	-	-
広島県	1580	13.28	13	0.17	100	1.33	842	11.23	160	2.13	49	0.65	7	0.09	59	0.79	3	0.04
山口県	674	9.63	9	0.18	119	2.43	468	9.55	159	3.24	-	-	12	0.24	50	1.02	-	-
徳島県	109	2.87	6	0.26	64	2.78	142	6.17	40	1.74	11	0.48	3	0.13	18	0.78	3	0.13
香川県	65	1.27	2	0.06	40	1.25	231	7.22	80	2.50	9	0.28	4	0.13	20	0.63	-	-
愛媛県	47	0.73	7	0.18	109	2.79	368	9.44	114	2.92	49	1.26	7	0.18	24	0.62	-	-
高知県	66	1.35	-	-	54	1.74	258	8.32	134	4.32	6	0.19	6	0.19	14	0.45	-	-
福岡県	5791	29.25	27	0.23	222	1.85	1040	8.67	405	3.38	17	0.14	16	0.13	117	0.98	5	0.04
佐賀県	647	16.59	17	0.74	60	2.61	81	3.52	126	5.48	11	0.48	6	0.26	37	1.61	-	-
長崎県	791	11.30	-	-	70	1.59	246	5.59	83	1.89	12	0.27	1	0.02	26	0.59	1	0.02
熊本県	592	7.31	14	0.29	94	1.92	420	8.57	154	3.14	5	0.10	1	0.02	56	1.14	-	-
大分県	867	14.95	1	0.03	53	1.47	347	9.64	173	4.81	13	0.36	3	0.08	37	1.03	1	0.03
宮崎県	343	5.72	3	0.08	75	2.03	476	12.86	180	4.86	23	0.62	5	0.14	42	1.14	-	-
鹿児島県	441	4.50	10	0.17	53	0.88	386	6.43	237	3.95	10	0.17	4	0.07	35	0.58	-	-
沖縄県	142	2.45	4	0.12	4	0.12	25	0.74	78	2.29	21	0.62	5	0.15	14	0.41	-	-

第3102表 報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

平成14年51週

	風 疹		ヘルパンギーナ		麻 疹 (成人麻疹を除く)		流行性耳下腺炎		急性出血性 結膜炎		流行性角結膜炎		急性脳炎 (日本脳炎を除く)		細菌性髄膜炎		無菌性髄膜炎	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総 数	28	0.01	172	0.06	100	0.03	2639	0.87	17	0.03	584	0.92	2	0.00	3	0.01	11	0.02
北海道	-	-	4	0.03	1	0.01	193	1.33	-	-	24	0.83	-	-	-	-	-	-
青森県	1	0.02	4	0.10	9	0.21	82	1.95	-	-	2	0.18	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	4	0.11	-	-	145	3.82	1	0.08	15	1.25	-	-	-	-	-	-
宮城県	2	0.03	2	0.03	1	0.02	122	2.07	-	-	3	0.27	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	114	3.26	-	-	8	1.14	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	2	0.07	-	-	34	1.13	-	-	5	0.63	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	8	0.17	23	0.48	79	1.65	-	-	12	1.00	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	7	0.09	49	0.66	-	-	43	2.69	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	3	0.07	-	-	65	1.41	-	-	15	1.25	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	1	0.02	-	-	70	1.13	-	-	41	2.93	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	21	0.13	13	0.08	83	0.52	-	-	13	0.38	-	-	-	-	1	0.11
千葉県	-	-	7	0.05	8	0.06	88	0.67	3	0.09	38	1.12	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	5	0.04	4	0.03	50	0.35	-	-	12	0.86	-	-	-	-	1	0.04
神奈川県	3	0.01	5	0.02	2	0.01	89	0.43	4	0.10	34	0.81	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	1	0.02	-	-	77	1.28	-	-	3	0.33	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	17	0.59	-	-	1	0.14	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	1	0.03	-	-	13	0.45	-	-	1	0.14	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	5	0.23	-	-	11	0.50	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	16	0.64	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	32	0.59	-	-	26	2.60	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	1	0.02	-	-	33	0.70	-	-	3	0.27	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	3	0.03	4	0.05	66	0.77	-	-	5	0.25	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	3	0.02	2	0.01	120	0.66	1	0.03	11	0.31	-	-	-	-	-	-
三重県	1	0.02	-	-	-	-	29	0.64	-	-	5	0.42	-	-	-	-	-	-
滋賀県	1	0.03	-	-	-	-	31	0.97	-	-	4	0.57	1	0.14	-	-	1	0.14
京都府	3	0.04	4	0.05	-	-	53	0.70	-	-	7	0.39	-	-	-	-	-	-
大阪府	1	0.01	18	0.09	2	0.01	57	0.29	1	0.02	19	0.37	-	-	-	-	2	0.13
兵庫県	1	0.01	-	-	1	0.01	136	1.06	1	0.03	18	0.50	-	-	1	0.08	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	30	0.86	-	-	3	0.33	-	-	-	-	-	-
和歌山県	1	0.03	-	-	1	0.03	17	0.55	-	-	-	-	-	-	-	-	1	0.09
鳥取県	-	-	2	0.11	-	-	42	2.21	-	-	4	1.33	-	-	-	-	1	0.20
島根県	-	-	-	-	-	-	16	0.70	-	-	2	0.67	-	-	-	-	-	-
岡山県	6	0.11	-	-	1	0.02	62	1.15	-	-	22	1.83	-	-	-	-	-	-
広島県	2	0.03	3	0.04	2	0.03	64	0.85	1	0.05	19	0.95	1	0.05	-	-	1	0.05
山口県	-	-	5	0.10	-	-	30	0.61	-	-	21	2.33	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	5	0.22	-	-	11	0.48	-	-	5	1.25	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	13	0.41	-	-	19	0.59	2	0.67	5	1.67	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	7	0.18	-	-	16	0.41	-	-	13	1.86	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	3	0.10	-	-	47	1.52	-	-	9	3.00	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	11	0.09	-	-	80	0.67	-	-	46	1.77	-	-	1	0.07	1	0.07
佐賀県	-	-	-	-	-	-	3	0.13	-	-	4	1.00	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	1	0.02	-	-	50	1.14	3	0.38	17	2.13	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	3	0.06	1	0.02	9	0.18	-	-	12	1.33	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	9	0.25	-	-	41	1.14	-	-	3	0.60	-	-	-	-	-	-
宮崎県	3	0.08	4	0.11	12	0.32	63	1.70	-	-	19	4.75	-	-	1	0.14	-	-
鹿児島県	2	0.03	4	0.07	5	0.08	61	1.02	-	-	10	1.67	-	-	-	-	-	-
沖縄県	1	0.03	-	-	1	0.03	24	0.71	-	-	2	0.20	-	-	-	-	2	0.29

第3102表 報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別 平成14年51週

	マイコプラズマ肺炎		クラミジア肺炎 (オウム病を除く)		成人麻疹	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	108	0.23	4	0.01	4	0.01
北海道	1	0.04	-	-	-	-
青森県	15	2.50	-	-	-	-
岩手県	12	0.60	-	-	-	-
宮城県	6	0.50	-	-	-	-
秋田県	10	1.25	-	-	-	-
山形県	2	0.20	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	2	0.29
茨城県	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-
千葉県	2	0.15	1	0.08	-	-
東京都	2	0.08	-	-	2	0.08
神奈川県	3	0.27	-	-	-	-
新潟県	7	0.58	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-
山梨県	8	0.80	1	0.10	-	-
長野県	4	0.36	2	0.18	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-
静岡県	1	0.10	-	-	-	-
愛知県	4	0.31	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-
京都府	2	0.33	-	-	-	-
大阪府	8	0.53	-	-	-	-
兵庫県	4	0.31	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-
和歌山県	1	0.09	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-
島根県	1	0.13	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-
広島県	2	0.10	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-
愛媛県	3	0.50	-	-	-	-
高知県	3	0.38	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-
佐賀県	1	0.17	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-
熊本県	1	0.07	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-
沖縄県	5	0.71	-	-	-	-

感染症週報 第4巻、第51号 平成15年1月10日発行
 発行：国立感染症研究所
 厚生労働省健康局結核感染症課
 厚生労働省大臣官房統計情報部
 事務局：国立感染症研究所感染症情報センター
 〒162-8640東京都新宿区戸山1-23-1
 T E L : 03-5285-1111
 F A X : 03-5285-1129
 U R L : <http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>
 <国立感染症研究所 感染症情報センター>
<http://www.mhlw.go.jp/>
 <厚生労働省>
<http://www.forth.go.jp/>
 <旅行者のための海外感染症情報(厚生労働省検疫所)>

本週報は、感染症新法に基づくものであり、全国の医療従事者、定点医療機関、保健所、保健所設置市、特別区、都道府県、地方衛生研究所、検疫所の皆様のご協力を得て、国立感染症研究所感染症情報センターにおいて編集したものです。

また、本週報は速報性を重視しておりますので、今後調査などの結果に応じて、若干の変更が生じることがありますが、その場合には週報上にて訂正させていただきます。

「感染症の話」及び「読者のコーナー」の回答欄の内容に関する責は、それぞれの執筆者及び回答者に属しますが、内容に関するご質問、ご意見については事務局でお受けいたします。

なお、週報の内容について、学術的研究、あるいは公衆衛生活動にかかわる業務以外の目的においては、無断転載を禁じます。